

道ノ池ハザードマップ

【 避難所の一覧 】

避難所名	住所	電話番号
第三中学校	下瓦屋500	464-6191
日新小学校	中庄801	463-2281
北中小学校	鶴原2-2-68	462-0870
長坂小学校	鶴原1053	462-8661
青少年課事務所	上瓦屋610-3	469-1106
北部市民交流センター本館	下瓦屋222-1	464-5725
北部市民交流センター青少年分館	鶴原1016-1	464-8700
北部市民交流センター体育分館	鶴原1016-1	464-8745

【 避難施設等 】

- 避難所兼緊急避難場所
- 緊急避難場所
- 広域避難場所
- アンダーパス
- 消防
- 警察
- 病院
- 決壊地点 (想定)

【 想定浸水深 】

- 5.0m以上の範囲
- 2.0m~5.0m未満の範囲
- 1.0m~2.0m未満の範囲
- 0.5m~1.0m未満の範囲
- 0.5m未満の範囲

2階の軒下までつかう程度 5.0m
1階の軒下までつかう程度 2.0m
大人の腰までつかう程度 1.0m
大人の膝までつかう程度 0.5m

【 我が家の避難経路 】

防災マップを持って、家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。
実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探し、あなたの経路図を右の地図に書き込んでみましょう。

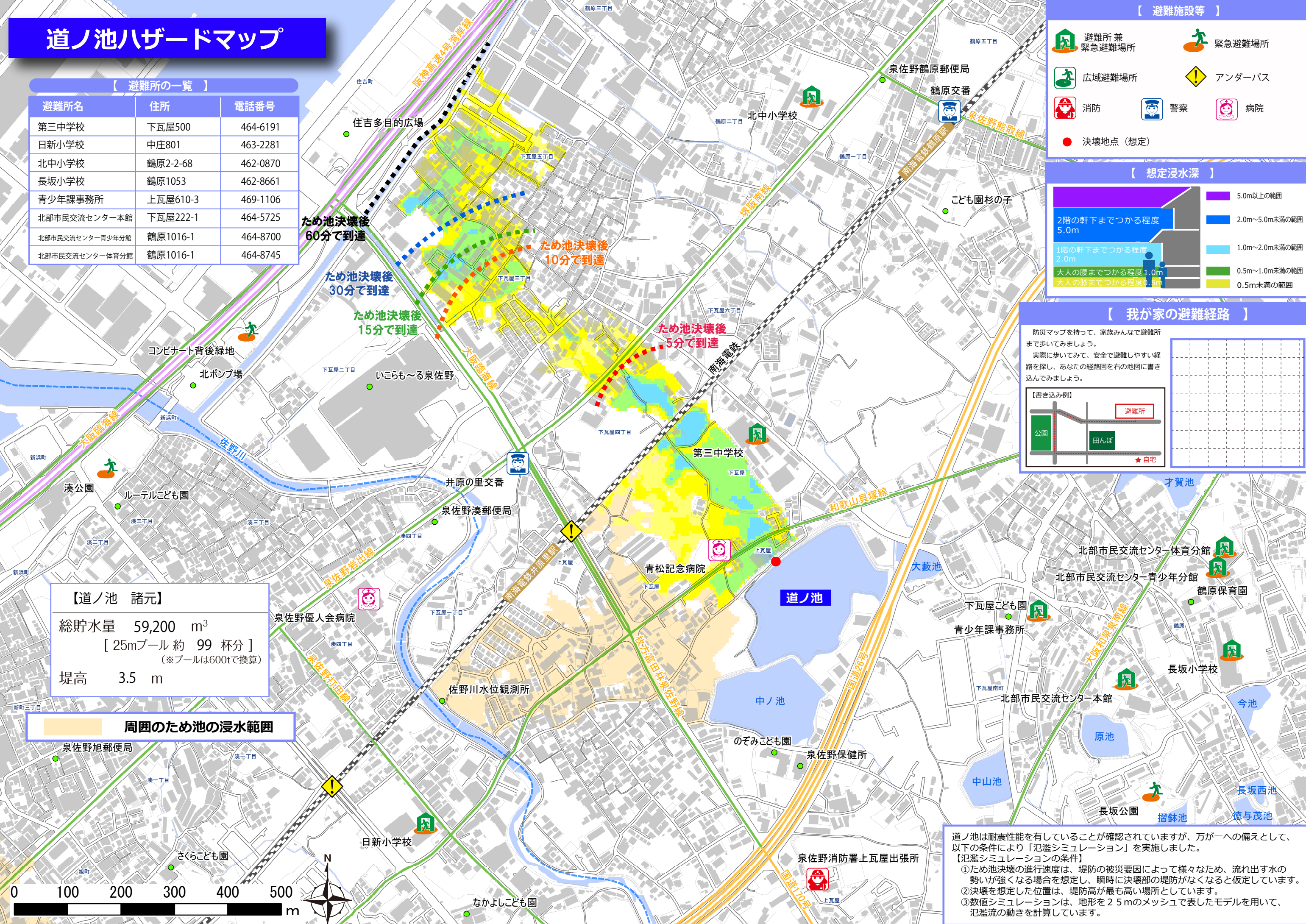
【書き込み例】

【道ノ池 諸元】

総貯水量 59,200 m³
[25mプール 約 99 杯分]
(※プールは600tで換算)
堤高 3.5 m

周囲のため池の浸水範囲

道ノ池は耐震性能を有していることが確認されていますが、万が一への備えとして、以下の条件により「氾濫シミュレーション」を実施しました。
【氾濫シミュレーションの条件】
①ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなるかと仮定しています。
②決壊を想定した位置は、堤防高が最も高い場所としています。
③数値シミュレーションは、地形を2.5mのメッシュで表したモデルを用いて、氾濫流の動きを計算しています。



ハザードマップは、万が一の地震や大雨によってため池が決壊する恐れのある場合の備えとして、自分や家族の命を守るために役立つ情報を提供するものです。また、住民のみなさんがマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上に取り組まれることを目的としています。



※空欄に、学校や職場などあなた自身の緊急時の連絡先を書き込みましょう

緊急時の連絡先	行政機関	泉佐野市役所	072-463-1212	その他	
		泉佐野警察署	072-464-1234		
		泉州南消防組合泉佐野消防署	072-469-0119		
		泉佐野市上下水道局	072-467-2800		
	その他	りんくう総合医療センター	072-469-3111		

わが家の防災メモ	わが家の避難場所	
	家族の集合場所	
	緊急時の連絡先	
	かかりつけの病院	

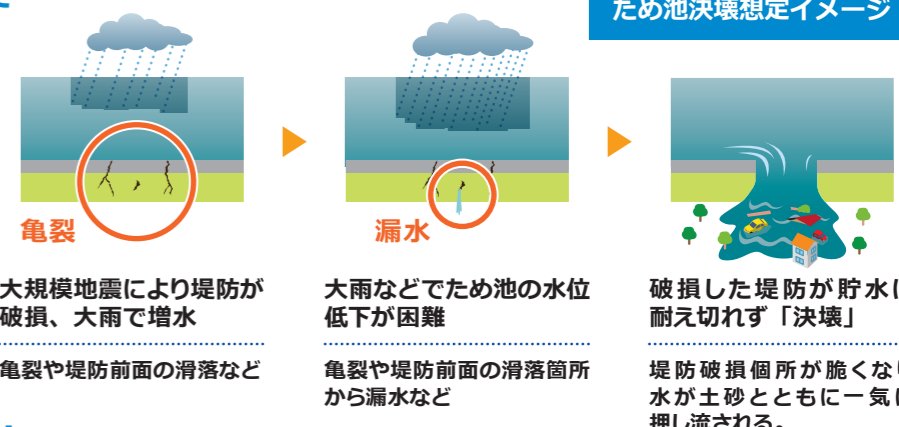
非常持ち出し品の一例	<input type="checkbox"/> ろうそく・マッチ・ライター	<input type="checkbox"/> 貴重品	<input type="checkbox"/> 雨具
	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> 食料品	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 救急医薬品	<input type="checkbox"/> ヘルメット等	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 飲料水（1人1日3リットルが目安）	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 衣類・紙おむつ・生理用品	<input type="checkbox"/> 筆記用具	<input type="checkbox"/>

もしも、ため池の堤防が壊れたら

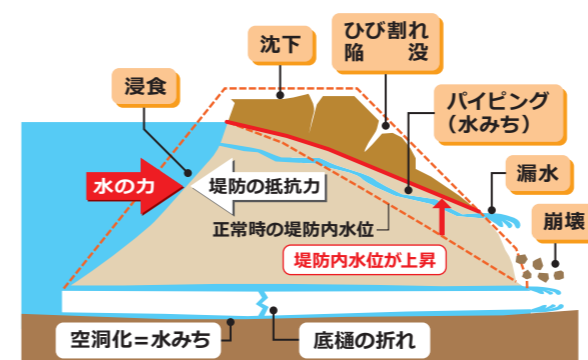
■ 氾濫シミュレーションについて

本ハザードマップ作成にあたり、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の被害範囲となるかを知るために、最悪の状況を想定した被害予測を行いました。

地図上では、想定される最大の浸水範囲と深さを示しています。



■ こんなとき、ため池が危ない!!



大雨時

- ・急激な水位上昇により、流水が堤体を越えようとする場合
- ・漏水が急激に増えた場合や漏水に濁りが生じた場合
- ・堤体が陥没し、漏水が生じた場合

地震時

- ・堤体の陥没やひび割れが発生し、急激な漏水量の増加や漏水に濁りが生じた場合

災害用伝言ダイヤル(171)

災害用伝言ダイヤル(171)は、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間で、伝言の録音・再生をすることができます。

伝言の録音: 171 + 1 + 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 録音

伝言の再生: 171 + 2 + 被災地の人の電話番号(市外局番から) ▶ 再生

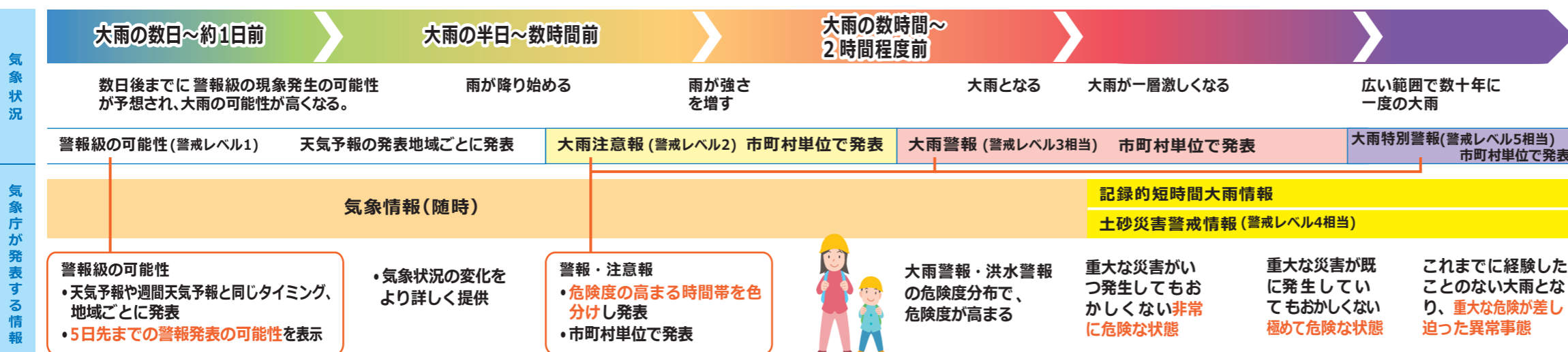
「171」をダイヤルし、ガイダンスに従って伝言の録音・再生をしてください。

大雨・洪水に関する情報

気象情報
雨量情報の入手先

PCから: <http://www.jma.go.jp/jp/warn/>
携帯から: <http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

雨量の状況は: <http://www.jma.go.jp/jp/amedas/>



市からの避難に関する情報(避難勧告等の情報)

避難準備・高齢者等避難開始
避難の準備を開始する必要があるときに発令
高齢者等の要配慮者は避難を開始

避難勧告
避難を開始する必要があるときに発令

避難指示(緊急)
災害発生危険が切迫しているときに発令

泉佐野市 市民の皆さん

避難勧告等の情報と伝達経路

防災行政無線放送が聞こえなかったら? 自動電話案内サービス 479-3710に電話をかけ、放送内容を聞きましょう